

みなさんお元気です・米寿祝賀会

7月9日（土）、鶴遊館で平成22年度米寿祝賀会が開催されました。

米寿祝賀会は、米寿（数えの88歳）を迎えた方々を祝い、これからも元気で生きがいのある生活を送ってもらおうと毎年行われています。

今年の町の対象者は、大正13年生まれの方々と、64人（男性21人・女性43人）になり、祝賀会では、中野町長から一人ひとりに米寿記念の手形が手渡されました。また、祝賀会のアトラクションでは、川村貞男さん（前中野）一座の民謡や三味線、手踊りなどを鑑賞し楽しいひとときを満喫しました。

ぜひ100歳の金メダルを目指して、いつまでもお元気で！



当日渡された米寿記念の手形



ご覧のとおり皆さんまだまだお元気です



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)

酒まつりで復興支援

6月17日（金）、鶴田町料理飲食業組合（花田正逸組合長）主催「東日本大震災復興支援 第24回つるたじよっぱりチャリティー酒まつり」が開催され、町内外から約500人の愛飲家たち、また、はるばる友好交流都市鹿児島県さつま町からも酒豪8人が参加して酒宴の夜を楽しみました。

今年の酒まつりでは、チャリティー募金を東日本大震災の義援金として復興支援に役立ててもらおうと参加者に呼び掛けたところ、例年の3倍以上の募金が集まりました。



さつま町から参加した酒豪8人



スタートの号砲を打つ藤田商工会会長



酒宴が始まるとご覧のとおり皆さん意気投合

児童たちに手づくりこけしを贈る

6月20日（月）、梅沢小学校（十川郁夫校長）で、葛西喜美男さん・宣子さんご夫妻（平川市在住）が制作した手づくりこけしの贈呈式が行われました。

今回こけしを贈呈した葛西さんは、元大工職人で技能オリンピックで青森県代表になったこともある凄腕の職人でした。現役を退いた今は、市から譲り受けた間伐材を利用して、施設の子どもたちを元気づけるために、奥様と2人で毎日原木からこけしを作り、子どもたちへプレゼントしています。

葛西さんは児童たちに、「優しい気持ちで色づけしてください」と言葉を贈り、こけしを優しく手渡していました。



葛西さんからこけしが贈られる



△大きなこけしに喜ぶ児童たち



生徒が一齐におにぎりをほお張る朝ごはんの町ならではの光景です

おにぎり食べて力出します！

6月10日（金）、鶴田中学校（野呂登志道校長）中体連壮行会で、「鶴田中学校部活動支援事業」として、JAつがるにしきた鶴翔支店がお米を提供し、PTA、生活改善グループ連絡協議会の方々がおにぎりを生徒全員に贈る「真心と感謝の心で結ぶおにぎりの集い」が行われました。

当日午後から各団体の方50人が同校の調理室に集まり、子どもたちのためにおにぎりを作り始め、出来上がったおにぎりはなんと612個にもなりました。

剣道部の北谷公亮君（3年）は、「人に感謝する心を忘れず、このおにぎりを食べて優勝を目指し頑張ります」と述べながら、愛情たっぷりのおにぎりをおいしそうにほお張っていました。

園児たちが虫おくり

7月9日（土）中央保育所（吉川光一所長）で、「親子夕べの集い」が開催され、保育所の父母による出店や園児たちによる「虫おくり」の行事が行われました。

虫おくりでは、泣き虫や弱虫、病気の虫など悪い虫を退治するために、虫が書かれた短冊を送り火と一緒に焼き、最後に園児全員で「虫ばらいの歌」を歌って自分に中にある悪い虫を追い払っていました。



虫が書かれた短冊が焼かれました



飾られた虫と短冊を持つ園児



焼かれる短冊と送り火を見つめる園児